

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニチコン製箔株式会社					
代表者名	氏名	手塚 修司	役職名	代表取締役工場長		
主たる事務所の所在地	長野県 大町市 社 8 2 2 4 番地 1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	アルミニウム電解コンデンサ用 電極箔の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	23,376	23,025	18,492		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	46,825	/	37,055		
	調整後排出量	t-CO ₂	46,825	46,123	37,055	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0	/	0		
自動車の台数	台	5	/	5		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10	/			

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	EMS 事務局にて保管、必要に応じて閲覧。 対応可能時間 平日 9:00～16:00 連絡先電話番号 0261-21-3200（代表）／EMS 事務局
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

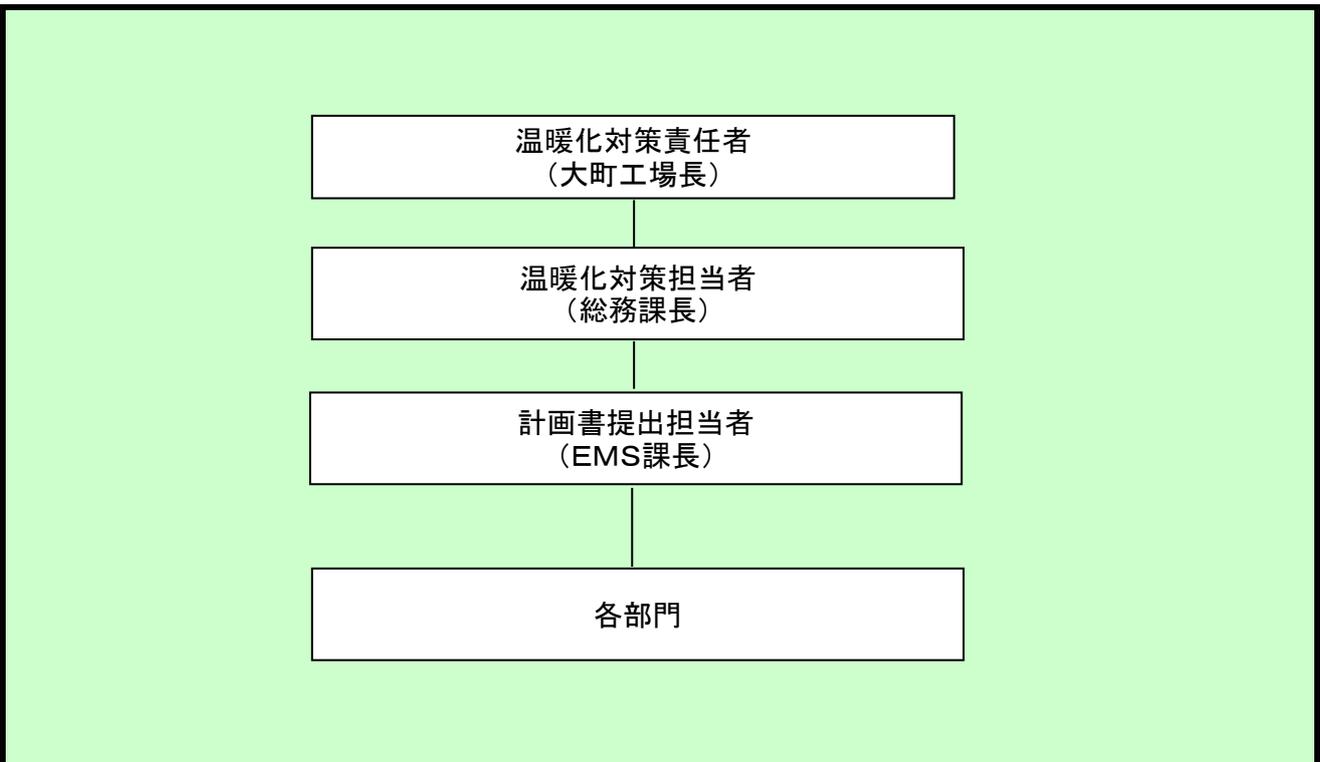
ニチコン製箔株式会社大町工場は雄大な北アルプスを背景とした自然環境に恵まれた安曇野の地で、「地球との共生」を目指し、持続的発展と工場活動に係わる全ての人々が環境に配慮して、地球環境の保全に貢献することを基本理念とする。

- ・エネルギーの効率活用と節減に努める。
- ・環境汚染防止、資源の有効活用を図るため、廃棄物の削減とリサイクルに努める。
- ・文章類の電子化及び用紙の有効利用を図り、用紙使用量の削減に努める。
- ・開発段階から資源の有効利用、各種法規制等に定める使用禁止物質、削減物質について配慮を図る。
- ・緑化維持・向上を図る。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みの推進および目標生物多様性の保全に努める。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	無	目標年度	年度	削減目標	
削減計画の概要					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

サステナビリティ委員会（月1回 開催）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	46,825	t-CO ₂	生産重量	4,034.51	単位	t
2022年度	調整後排出量	46,825	t-CO ₂	基準原単位	11.61	t-CO ₂ /	t
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	46,123	t-CO ₂	目標原単位	11.44	t-CO ₂ /	t
2025年度	目標削減率	1.50	%	目標削減率	1.50	%	
目標設定に関する説明	環境マネジメントプログラムの運用により、年平均0.5%の削減を目標とする。						
第一年度	排出量	37,055	t-CO ₂	生産重量	2,750.75	単位	t
	削減率	20.86	%	原単位	13.47	t-CO ₂ /	t
2023年度	調整後排出量	37,055	t-CO ₂	原単位削減率	-16.03	%	
	削減率	20.86	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量は基準年度と比較し、受注低迷が続いた影響を受け、生産数量が大幅に減少した事により、削減率は20.86%目標達成した結果となりました。しかし、生産重量当たりの原単位は、基準年度と比較して、1.86ポイント悪化した結果、削減率が-16.03%の目標未達成となりました。目標年度に掲げているCO₂排出量は目標達成出来ましたが、原単位実績値は目標未達成となりました。 ・次年度も更なるCO₂排出量削減に向けて、取り組みを進めます。 						
第二年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	ボイラ	配管保温	2023～2025	610	2023	39.48
2	エネ起	ポンプ	ポンプの運転管理	2023～2025	12	2023	23.29
3	エネ起	照明設備	LED照明の導入	2023～2025	15	2023	20.30
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	46,825	1	37,055				
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	46,825	1	37,055				

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0		

1.3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	1		
電気自動車	1	1		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	1	2	0	0
自動車総数	5	5		
次世代自動車導入割合	20	40		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	該当せず。
自転車の利用促進	一定距離(1.5km)以下の自動車通勤は規制している。 自転車通勤にも手当を支給し、駐輪場を設けている。ヘルメット着用努力義務。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	最寄駅から(まで)の地図を作成しており、案内看板を設置している。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	社用車に電気自動車1台導入および、急速充電器1台を設置している。
物流の合理化	製品物流の輸送は、空荷が発生しない様に配車コントロールを行っている。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2000年
	名称	ISO14001:2015	
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している		
<input type="checkbox"/> デイモンド・リスポンス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置(上げDR・下げDR)を実施している		
<input type="checkbox"/> その他			

1.6 自由記載欄(特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

<p>※ 2024.03月 PHEV車両を1台導入している。</p>
